

生田緑地マネジメント会議ニュースレター

vol.50

令和4年度 全体会・講演会が開催されました。

日時：令和5年3月11日（土）13:30～15:30

場所：多摩区役所11階レストランたま

第一部 令和4年度の全体会を開催しました。

第二部 講演会 田園調布学園大学 和研究室・福祉デザインLabとの共催形式で、「第7回連続講座まとめ～生田緑地を拠点とした「多摩区発・地域共生社会モデル」に向けて～」を開催しました。



井口リーダーより河合征生川崎市建設緑政局緑政部長・緑化フェア推進室担当部長へ中間報告書の提出。



和秀俊准教授による講演

令和4年度全体会プログラム

◇第一部 開会のあいさつ 松岡会長

1.『緑化フェアプロジェクト中間報告書の提出』

井口リーダーより提言に至る背景、内容の説明があり、河合征生川崎市建設緑政局緑政部長・緑化フェア推進室担当部長へ提出しました。

2.生田緑地マネジメント会議役員改選 及び 運営委員の改選についての報告があり、松岡嘉代子会長、井口実副会長選出が承認されました。又、安田洋信生田緑地整備事務所長も運営ルール「第3章役員」に基づき副会長として承認されました。

3.生田緑地運営ルール改定の報告があり承認されました。

4.全体会総括「生田緑地マネジメント会議ふりかえり」

5.その他

◇第二部「多摩区発・地域共生社会モデル」のまとめ

・講座とワークショップ～生田緑地を拠点とした「多摩区発・地域共生社会モデル」に向けて～

主催：田園調布学園大学和研究室・福祉デザインLab

◇閉会のあいさつ 安田副会長



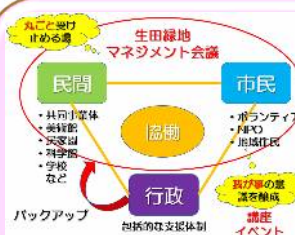
ワークショップ風景

緑化フェアプロジェクト中間報告書（概要）

令和4年6月生田緑地マネジメント会議、緑化フェアプロジェクトが発足しました。以降6回にわたりプロジェクト会議を順次開催し、企画アイデアについて検討を重ねました。最寄り駅から会場までの動線を実際に歩きながら、アクセス路の修景アイデアについても官民協働で検証しました。本プロジェクトは、緑化フェアの開催まで継続します。今回ご提案する企画書群は、所謂「提言書」ではなく、中間報告的な取りまとめとしてお預けするものです。次年度以降も継続してブラッシュアップしながら、提案者が中心となって具体的に肉付けし、地域の諸団体を巻き込みながら粛々と現実化していかねばなりません。緑化フェア推進室におかれましては、生田緑地近隣で活動する市民の緑化フェアへの並々ならぬ期待と意気込みをあらためて感じていただき企画の実現、及びフェア実施以降のエリア波及効果推進に向け、ともに協働して頂きたいと考える次第です。

令和5年3月11日 生田緑地マネジメント会議

緑化フェアプロジェクト PJリーダー井口実



生田緑地マネジメント会議の可能性

生田緑地マネジメント会議は、地域共生社会を実現する仕組みとなっている！

講演会資料より

～生田緑地ビジョン基本理念（生田緑地のめざす将来像）～

豊かな自然・文化・人・まちが共に息づき 緑がつなげる持続可能な生田緑地の実現

●お問い合わせ先：生田緑地共同事業体 東ロビ「ジ」ターセンター TEL044-933-2300
川崎市建設緑政局生田緑地整備事務所 TEL044-934-8577